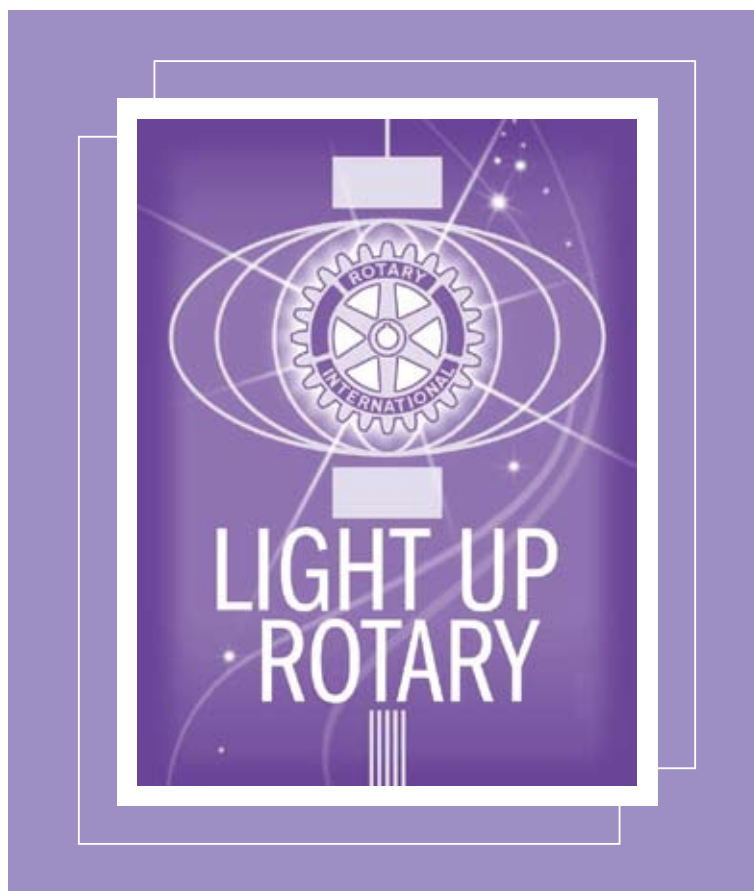


Rotary 

2014-2015

国際ロータリー 第2660地区

地区委員会 活動計画書



合同地区委員会
ガバナー 泉 博朗

2014.7.19(土)
大阪YMCA会館

目 次

合同地区委員会開催にあたって	1
ガバナー指名委員会	2
意義ある業績賞委員会	3
地区研修委員会	4
クラブ奉仕部門	
クラブ奉仕・拡大増強委員会	5
広報委員会	6
職業奉仕部門	
職業奉仕委員会	7・8
社会奉仕部門	
社会奉仕委員会	9・10
青少年奉仕部門	
青少年合同委員長会議	11
青少年活動委員会	12
ローターアクト委員会	13・14
インターアクト委員会	15
青少年交換委員会	16・17
国際奉仕部門	
国際奉仕委員会	18・19
ロータリー財団部門	
地区財団監査委員会	20
ロータリー財団委員会	20・21
資金推進小委員会	22
ポリオプラス小委員会	23
地区財団資金管理小委員会	24
補助金小委員会	25
地区補助金・グローバル補助金担当グループ	26
奨学金・学友・R平和フェロシップ担当グループ	27
職業研修チーム担当グループ	28
米山奨学部門	
米山奨学委員会	29・30
災害支援委員会	31
危機管理委員会	32
地区大会実行委員会	33
ロータリーの友	34
地区財務委員会	35・36
ロータリーフェスティバル実行委員会	37
予算書	38・39
2016年規定審議会・地区委員会	40
地区組織図	42・43

合同地区委員会開催にあたって

ガバナー 泉 博朗

「クラブ活性化」のために

合同地区委員会は、年度の初めに、今期の地区役員、委員の皆様が一堂に会して、共に、本年度の活動を共有し、地区活動の連携、強化を図り、地区活動の目的を達成するためのものです。それぞれの委員会で英知を集め、さらに一丸となって地区活動の目的達成のための集まりであります。その成果を出すためには、地区委員会の役割を共有しなければなりません。地区委員会の歴史を尊重しつつも時代に合った活動をいたさなければなりません。

地区委員会の目的は明確の一つであります。それは「クラブの活性化」にほかなりません。ただ、クラブの活性化の方向は一つではありません。様々なクラブの特徴を活かした活動を支援しなければなりません。そのために、様々な委員会の活動があるのです。すべてのクラブで均等にロータリーの奉仕がなされるのではなく、そのクラブの、構成、生い立ち、方針により、様々な活動がなされることによって、地区全体として大きな活動が達成されるわけであります。ひとつの大きな力に頼ることなく、それぞれのクラブがそれぞれの形で、ロータリーの活動をすることを支援するのが、皆様、地区委員会の役割であります。一つのクラブが、少なくとも一つ、情熱をもって実施するロータリー活動を支援していただきたいのです。本年度は38件の地区補助金を活用した奉仕活動、19クラブの提唱によるローターアクト、インターアクトは本年度より1件増えて7クラブの提唱、37名の米山奨学生、10名の青少年交換、ニコニコキャンプ、2回のライラ、その他さまざまな活動が予定されております。その活動を実のあるものにしていただくのがその担当の委員会の役割であります。また研修委員会や職業奉仕委員会の皆様のようにロータリアンとしてのあり方を特に、新入会員の皆様に周知していただくのも、委員会の役割であります。また、そのどれも活動していないクラブに対し適切に支援するのも、委員会の役割であります。積極的に「クラブ活性化」のための活動をお願いいたします。

ガバナー指名委員会

委員長	福家	宏	(八尾中央RC)
委員	大谷	透	(大阪西南RC)
	松本	新太郎	(八尾RC)
	岡部	泰鑑	(大阪城南RC)
	高島	凱夫	(大阪中之島RC)

○活動方針

当委員会は、ガバナーノミニー・デジグネートについては、求めうる最上の候補者を探し出し、推薦を致します。推薦に当たってはガバナー指名に関するR I細則13条に則り、2017－2018年度の当地区ガバナー候補者を推薦すべく活動いたします。

【注】ガバナーノミニー・デジグネートの呼称使用はごく最近に始まっており、まだその指名に関する各種文書の表現統一がされていません。目指すゴールとして2017－18年度にガバナーとなるのにふさわしいロータリアンを指名するという部分に変わりはないためR I細則第13条を柔軟に読み替え、記載のある手順の通りに選出をすることになります。

(日本事務局に確認済み)

意義ある業績賞委員会

委員長 福家 宏 (八尾中央RC)
委員 岡部 泰鑑 (大阪城南RC)
高島 凱夫 (大阪中之島RC)

○活動方針

意義ある業績賞は、重要な問題またはニーズに取り組むクラブの活動を表彰するためのプログラムです。この賞の目的は、あらゆるクラブに新しいプロジェクトを奨励し、かつクラブが努力の模範を示すことの重要性についてロータリアンの理解を深めることとされています。

本賞は地区内全クラブの中から1クラブの1件のプロジェクトを推薦対象と致します。
すでに本賞を受賞したことのあるプロジェクトは、推薦対象とはなりません。

またプロジェクトは下記の事項を満たすものでなければなりません。

- ・地元地域社会の顕著な問題やニーズに取り組むものであること
(国際奉仕プロジェクトは対象外です)
- ・単なる資金面の奉仕ではなく、クラブ会員の大半、または全員が直接参加しているものであること
- ・クラブの規模、および利用可能な資金に釣り合ったものであること
- ・地域社会において、ロータリーのイメージを向上させるものであること
- ・他のロータリークラブも実施が可能なプロジェクトであること
- ・本賞の表彰年度中に進行中、もしくは完了されたものであること
(ただし表彰年度中に開始されたものである必要はない)
- ・単一のロータリークラブによって実施されたものであること

当委員会は、クラブからの本賞受賞の申請を受け付け、以上の条件に基づいて受賞資格クラブを検討し、地区ガバナーに受賞候補クラブを推薦致します。

地区研修委員会

リーダー	井上	暎夫 (千里RC)
サブリーダー	岩田	宙造 (大阪南RC)
	大谷	透 (大阪西南RC)
	高島	凱夫 (大阪中之島RC)
委員	立野	純三 (大阪RC)
	岩津	陽介 (大阪御堂筋本町RC)
	鈴木	洋 (八尾東RC)
	岡田	耕治 (東大阪東RC)
	五味	千秋 (大阪心斎橋RC)
	磯田	郁子 (大阪東淀ちゃやまちRC)
	木村	芳樹 (大阪南RC)
	畑田	耕一 (豊中RC)
	新見	葵 (大阪天王寺RC)
	川崎	壽 (大阪中央RC)
	村橋	義晃 (大阪中之島RC)

○活動方針

当委員会の使命は、クラブの活性化に如何に資するかであります。

活性化を阻害する要因は、当地区アンケートの結果によりますと

1. 会員数の減少
2. 会員のロータリー精神、ロータリアンとしての誇り、モラルの低下

が、ほぼ同数で最も多い回答でした。

会員増強と会員研修は、共に原因となり結果となる関係にあります。

クラブの研修をどのように支援するのか出来るのがテーマであり、熱き心の持ち主で構成しております委員会メンバーが、一丸となり取り組む所存です。

泉ガバナーの方針にあります「一人一人の輝きで あなたの地域を輝かそう」を、クラブで実践して頂く支援を活動方針とします。

○活動計画

- ① クラブ会長、クラブ研修リーダー等を対象としたセミナーの実施
- ② クラブでの研修に参考となるマニュアルの作成
- ③ クラブへの講師派遣
- ④ 地区が行う地区研修協議会、PETS、ガバナー補佐研修などをガバナーエレクトと協議の上、企画担当
- ⑤ 「ロータリーの心と実践」改訂版を発表

クラブ奉仕部門

クラブ奉仕・拡大増強委員会

委員長	福田 忠博 (大阪中之島RC)
副委員長	新居誠一郎 (大阪南RC)
	峠本 敏夫 (交野RC)
委員	榎本 桂子 (寝屋川RC)
	中平 公士 (大阪東RC)
	松崎 達郎 (大阪東南RC)
	中島 武 (大阪みおつくしRC)
	小山 章松 (大阪船場RC)
	橋本 善治 (茨木西RC)
	西尾誠一郎 (大阪大淀RC)

○活動方針

会員の減少が続く中で、ロータリーの認知度や公共イメージの向上とともに、会員拡大・増強の推進の支援を行う。

○活動計画

1. 2014－15年度のための会員拡大・増強セミナーを2014年6月14日に行い、高島凱夫パスト・ガバナーの講演に続いて、会員増強、維持に力を発揮したクラブや、合併したクラブ、新クラブの代表をパネリストとして討論をしました。
2. 地区主催の若いロータリアンの集会とロータリーフェスティバルのサポート。
3. 広報委員会と協力して、ロータリーの認知度、公共イメージの向上を高めるように努める。

広報委員会

委員長	上場	俊哉 (高槻東RC)
副委員長	松任	保勇 (大阪中之島RC)
	石田	秀 (大阪西南RC)
委員	岡村	剛行 (大阪東RC)
	林	邦彦 (大阪西RC)
	梅原	一樹 (大阪中之島RC)
	小森	敏鑑 (大阪南西RC)
	小西	康二 (豊中千里RC)
	猪俣	由宇 (高槻東RC)
	藤田	和美 (大阪西南RC)
	深江	慎介 (大阪フレンドRC)

○活動方針

ガバナー方針を受け、各クラブの広報活動充実を支援し、地区広報活動を積極的に推進する地区広報委員会活動を目指す。

- 1) ロータリー内部への情報発信を充実させクラブ、地区の活性化を支援する
 - ①各クラブのホームページ及び会報の充実を支援する
 - ②「ロータリーの友」と連携して各クラブの奉仕活動の投稿を推進する
 - ③各クラブの、地域やマスメディアへの広報活動を支援する
- 2) ロータリー外部への広報活動を企画し推進する
 - ①地区ホームページのよりいっそうの充実を図る
 - ②国際性豊かな2660地区をアピールする機会を設ける
 - ③ロータリーフェスティバルの成功に向けて企画運営をサポートする
 - ④ラジオ大阪での番組放送を継続充実する
 - ⑤ロータリーデーの成功に向けた情報発信を行う

○活動計画

各クラブの広報活動充実の支援については、クラブ委員長会議などで意見交換、事例研究などを行う機会を積極的に設ける。

- 2014年 7/19 (土) 合同地区委員会 (大阪YMCA会館)
 7/26 (土) 第1回クラブ広報委員長会議 (葉業年金会館)
 12/5 (金) - 6 (土) 地区大会 (フェスティバルホール)
- 2015年 1/17 (土) 第2回クラブ広報委員長会議 (葉業年金会館)
 次年度クラブ広報委員長にもご出席いただく。
 4/初旬～ ラジオ大阪で2660地区の番組を1ヶ月間 (4回) 放送予定
 5/5 (火・祝) ロータリーフェスティバル (中之島公会堂)

*この他、8回の地区広報委員会を開催予定

職業奉仕部門

職業奉仕委員会

委員長	北川	忠嗣 (東大阪東RC)
副委員長	岡本	雄介 (大阪大手前RC)
	田中	徳彦 (大阪西南RC)
委員	木越	正司 (大阪西RC)
	庄野	晋吉 (大阪RC)
	黒松	克行 (大阪城東RC)
	朝倉	通憲 (高槻RC)
	河合	秀行 (大阪西北RC)
	高杉	英一 (大阪RC)
	只井	恒満 (大阪西RC)
	林	宏毅 (くすはRC)
	長谷	裕代 (大阪大手前RC)
	関谷	洋子 (豊中RC)
	濱中	眞希子 (大阪北梅田RC)

○活動方針

2014-15年度R Iの方針は、「ロータリーに輝きを」で具体的目標の一つとして認知度の向上をあげられています。また地区方針は、ひとりひとりの輝きであなたの地域を輝かそうLIGHT UP + (地名) で、皆様方のそれぞれの地域に密着した奉仕活動といわれています。

職業奉仕は、ロータリー精神の基本であり、ロータリアンは職業を通じて色々な奉仕活動を行い、地域に貢献しなければなりません。

私どもの職業奉仕委員会としましては、地域社会の貢献の一つとしてロータリアンの職業を生かし学校教育への貢献ができます様、出前授業・職場体験学習を進めています。

2013-14年は「実践」を進め各クラブに働きかけを行い活動を広げる事が出来ました。更に今年度も、クラブの活性化が地区委員会の役割であるという考え方のもと、昨年度同様積極的に活動を広げていきたいと思っています。

そういう活動が地域社会に知られると皆様の地域を輝かせ、ロータリーの認知度の向上につながるのではないかと思います。

私ども委員会ではその一助となるべく継続している事業の情報をお知らせしたり、各クラブの委員長様のお手伝いをさせていただきます。

○活動計画

①アンケートの実施

各クラブ職業奉仕委員会の事業計画についてのアンケート調査を実施します。

②出前授業の更なる推進と職場体験実習とリンクした活動等を推奨し必要であれば皆様方と私ども委員会のメンバーと意見交換をさせていただきます。

③職業奉仕月間で委員長が自ら卓話をして頂き、その後フォーラムの実施して頂く為の資料を準備させて頂いております。この資料（CD）は今年度も配布させて頂いておりますのでお持ちの方もおられるかも知れませんが、「ロータリーの原点は親睦と奉仕」を追加しております。

④職業奉仕十二章の配布（考え方の一助として）

職業奉仕の考え方の一助として考えて頂ければと思っています。

⑤職業奉仕事業を行うクラブ、もしくは計画されるクラブに対してざっくばらんに話の場を持ちたいと思っています。具体的な事を話せば参加意識が高まると思います。

⑥年2回 クラブ職業奉仕委員会会議を開催させていただきます。

⑦必要に応じ年8～10回 委員会を実施

クラブへのお願い

1. アンケートの回答をすみやかにお願いします
2. 出前授業や職場体験実習など活動をお願いします。
3. 継続性の観点から新旧の引継ぎをお願いします。
4. クラブ内において、自分の職業について話す時間を取って下さい。

職業奉仕と親睦がなくなるとロータリーの存在が無くなり、他の団体との垣根がなくなると思います。

社会奉仕部門

社会奉仕委員会

委員長	脇	隆俊	(大阪御堂筋本町RC)
副委員長	中嶋	英貴	(大阪鶴見RC)
委員	滝川	博嗣	(門真RC)
	竹田	伸	(大阪難波RC)
	小林	知義	(大阪ユニバーサルシティRC)
	中山	正隆	(大阪リバーサイドRC)
	奥谷	英夫	(千里RC)
	溝手	悟	(大阪天満橋RC)
	木崎	信也	(くずはRC)
	服部	潤承	(池田くれはRC)
	望田	成彦	(摂津RC)
	塩尻	明夫	(大阪船場RC)

○活動方針

社会奉仕はロータリアンひとりひとりが「超私の奉仕」を実証する機会です。

また、R I 戦略計画による取り組むべき項目は

1. クラブのサポート
2. 人道的奉仕の重点化と増加
3. 公共イメージと認知度の向上 の3項目とあります。

『ひとりひとりの輝きで、あなたの地域を輝かそう』という地区テーマを実現できるよう地域的社会奉仕における各種情報をクラブに提供し、ロータリー全体の見地から各クラブの個性と特色ある社会奉仕活動を支援、サポートします。例年提供している情報の中から、6つの重点項目(分野)のひとつである「疾病予防と治療」、その疾病の治療に使用される血液の使用量は高齢化に伴い年々増加しています。多くのクラブがそれぞれの地域で実施されている人道的奉仕活動である「献血」について重点化し取り組みたいと考えています。

そして公共性を持った多くの奉仕活動をロータリーファミリーとともに協力、計画し、地域社会の人たちを巻き込んで活動が実現できるよう、情報を提供、共有し認知度の向上を目指します。

地区社会奉仕委員会が継続的に関わってきたさまざま分野と昨年からは開始した水環境というテーマ、そして新しく育児放棄や虐待の問題、南海トラフ地震における準備と研究など、今考えるべき課題に取り組むたいと考えています。

クラブの社会奉仕活動がより効果的に、また地区委員会を充実したものになるよう、各クラブのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

○活動計画

■情報提供と研修

- ・年2回のクラブ社会奉仕委員長会議の開催
- ・献血活動における各種情報の送付
- ・地区献血活動におけるロータリーファミリーとの連携・ロータリーデーの開催
- ・薬物乱用防止活動報告
- ・水環境・大阪湾再生活動報告
- ・育児放棄・虐待における理解
- ・南海トラフ地震における対策研究
- ・国内の災害発生時の機動体制と準備（地区災害支援委員会との連携）

■日本赤十字、大阪府、国土交通省との連携

- ・献血活動の協力（大阪赤十字血液センター）
- ・薬物乱用防止活動の協力（大阪府健康福祉部）
- ・大阪湾再生の協力（国土交通省近畿地方整備局）

青少年奉仕部門

青少年合同委員長会議

議 長	岡部 泰鑑 (大阪城南RC)
委 員	近藤 菜穂子 (大阪ネクストRC)
	川本 典美 (大阪ネクストRC)
	阪上 博史 (茨木東RC)
	山本 喬一 (大阪天満橋RC)
	井上 善博 (東大阪みどりRC)
	山本 和良 (大阪南RC)
	鮫島 武信 (大阪南RC)

○活動方針

従来の四大奉仕部門に青少年奉仕部門が加えられ、国際ロータリーが五大奉仕部門を展開して4年目を迎えます。

以前の新世代奉仕の名称も前年度より青少年奉仕と変わりました。

当地区のロータリーが設けている青少年育成のためのプログラムは、それぞれ素晴らしい成果をあげています。この結果は、まずもってプログラムが安全な環境のもとに、各活動が情報と連携が大変よくとれているからだと思います。今年度も年2回、連絡会議を開催し、さらなる各活動や委員会の理解と連携を深めていきたいと思っています。

青少年活動委員会

委員長	井上 善博 (東大阪みどりRC)
副委員長	庄司 修二 (箕面RC)
	松本 晴充 (大阪中央RC)
	高橋 一雅 (大阪北RC)
委員	西本 健二 (吹田江坂RC)
	石川 益三 (大阪難波RC)
	池田 文治 (大東中央RC)
	石井 正人 (大阪フレンドRC)
	西崎 哲弘 (大阪城北RC)
	瓦谷 勝 (大阪西南RC)
	阿部洋治郎 (大阪平野RC)
	斎藤 清貴 (大阪ユニバーサルシティRC)

○活動方針

毎年、春の初級RYLA・秋の上級RYLAそして夏のニコニコキャンプの三事業を円滑に、かつ有意義に企画・準備・実施する委員会であります。目的は青少年の「健全育成」特にRYLAに関しては、時代を背負っていける人物には不可欠な「リーダーシップ」を養成するためにプログラムをより充実させます！そのプログラムをより細やかに企画運営を担う「チームRYLA」のレベルアップも図っていきます。

ニコニコキャンプに関しては、小学生対象の安全で楽しいものに心掛け、ロータリーの広報も念頭におきながら、実施する考えであります。

特に本年は、青少年奉仕部門の他委員会とも今まで以上に密接な連絡をとり、その行事・事業に積極的に参加し、理解を広げ、お互いの委員会をサポートしあえる関係にしたいと思えます。ロータリアンの減少による予算の圧縮・削減にも備え、事業の質を落とさないで、コストダウンできるよう挑戦したいと考えています。

最後に、地区内の各クラブ様にもご理解いただけるよう、情報発信や卓話に出かけ、風通しの良い委員会にすると同時に、委員会内のメンバー同志の親睦にも力を入れ、より強固な絆で繋がる委員会運営を目指します。

ローターアクト委員会

委員長	山本	和良	(大阪南RC)
副委員長	丸尾	照二	(大阪御堂筋本町RC)
	松尾	治	(東大阪西RC)
委員	栗村	卓家	(大阪西RC)
	柳田	雅範	(東大阪RC)
	末松	大幸	(大阪淀川IRC)
	山本	博之	(大阪東RC)
	田中	実	(大阪北RC)
	井上	智裕	(守口RC)
	羽鳥	敬彦	(大阪RC)
	坂田	淳一	(枚方RC)
	拙	律子	(大阪西南RC)
	久保	義誓	(茨木RC)

○活動方針

青少年奉仕はR Iの重要な部門の一つです。当地区活動資金を見ても半分以上が青少年奉仕部門に割当てられ、青少年奉仕がロータリーにとっていかに大きな位置づけにあるかが伺えます。同時に当委員会に寄せられる期待と責任と使命を痛感しています。

昨今のロータリークラブ会員減少に伴い、運営に苦慮するクラブが増えていると耳にします。2660地区でも過去5年で100名強の会員が減少しており、日本全体ではピークから4万人も減少しています。事実、R Iはじめ地区の方針でも重点項目として会員の増強・拡大が謳われています。青少年奉仕の目的は、ロータリー精神を培った若い指導者を育てる事で、その指導者こそロータリアンになりえる人材です。ローターアクトクラブ定款中の目標の一つにも、「ロータリーにおける将来の会員となるよう若い人々の意欲を高めること」と謳われています。ずばり会員増強の決め手は、私たちロータリアンが、自らの手で未来のロータリアンに育成する事だと考えます。

そこで今年度、私たちローターアクト委員会は、ローターアクターをロータリアンの資質を備えた次世代の指導者に育て上げる事を目指して活動してまいります。そのためには先ずローターアクトの活動が、ローターアクトクラブの指標である目的・目標に沿っているか、次にルールに則っているか、またロータリーの基本理念の一つで倫理的羅針盤である4つのテスト「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」に則しているかを精査、検証し、倫理観に主眼を置き指導してまいります。

「子は親の背中を見て育つ」、「ローターアクターはロータリアンの背中を見て育つ」をいう自覚と責任を胸に、私たちロータリアンも親の立場で、子育てという超我の奉仕に邁進してまいります。

○活動計画

（委員会の役割強化）

当委員会とRACの地区役員会を一体化させ事業内容やRACの抱える様々な課題に共同で取り組み、RACの諸活動を4つのテストに照らし合わせ精査する倫理観重視の指導体制の確立を目指します。

（事業内容充実に向けた取り組み）

全地区行事に地区ローターアクト委員の担当制の導入し、地区RAC役員会、ホストRAC及びその提唱ロータリー委員会、当委員会との調整役となり、事業の一体感と内容の充実と活性化を図ります。

（指導者育成のための環境づくり）

将来のロータリアンに相応しい指導者の育成のためには、ローターアクトの各種プログラムへの参加が不可欠であり、その実現に向けローターアクトの予算配分検証と見直しを行い、全ローターアクターが各種プログラムに参加しやすい環境を作ります。

（青少年奉仕部門との連携）

青少年奉仕部門各委員会との連携を強化し、青少年奉仕プログラム向上に一役を担い、ロータリーファミリーの一員としての役割を果たします。

（ニコニコキャンプ支援、RYLA支援、ROTEX、IACとの交流や連携を模索）

（RACサポートシステムの進化と確立）

RACサポートシステムを、提唱・未提唱ロータリークラブに留めず、地区他委員会や青少年部門各団体との共同事業にも積極的に取り組み、ロータリーファミリーとの交流や連携を活発にし、互いに補完するシステムの確立を目指します。

（会員増強）

RACサポートシステムやその他RAC活動を通して、ローターアクトプログラムの良さを理解して頂き、会員の拡大に繋げる事を目指します。

ローターアクト関連事業予定

地区献血（7月・2月）・青少年奉仕ローターアクト合同正副委員長会議（9月20日）
 全国統一アクトの日（9月7日）・海外研修（11月下旬）・4地区合同交流会（12月）
 世界RAC DAY（3月15日）・ロータリーデー（5月）・地区年次大会（5月31日）
 リーダーシップフォーラム/新人研修会（6月14日）・全国RAC研修会（3月福島県）
 合同役員会（月1回）、北ゾーン連絡協議会（月1回）、南ゾーン連絡協議会（月1回）、
 RYLA（初級・上級）・ニコニコキャンプ（大阪西南RAC）
 周年事業—関西大学RAC 5周年、枚方RAC 30周年、東大阪RAC 30周年
 大阪天満橋RAC 35周年、大阪西南RAC 40周年

インターアクト委員会

委員長	鮫島	武信 (大阪南RC)
副委員長	西	秀樹 (八尾RC)
	東村	正剛 (大東RC)
委員	松井	隆雄 (大阪天王寺RC)
	小泉	祐助 (大阪RC)
	水取	孝司 (大阪天王寺RC)
	小池	貢 (大阪帝塚山RC)
	田中	康正 (八尾RC)
	空門	満也 (大東RC)

○活動方針

インターアクター（インターアクトクラブの各校生徒）の自主的な活動を支援すると共に、その活動と意義をロータリアンに広く理解して頂けるよう努めます。

(1) インターアクターのリーダーシップ

インターアクターの建設的な指導力を養成し、自己の完成を図るためにも、各事業の企画立案と実施に各校生徒の自発的、主体的な参加を促します。前年度の方針を引継ぎ、ロータリアンと各校顧問との合同会議にインターアクターの参加の機会を与え、積極的具体的な意見を述べてもらいます。

(2) 青少年奉仕部門との連携強化

青少年奉仕部門の他の委員会である青少年交換委員会、青少年活動委員会、ローターアクト委員会とはワークショップやロータリーデーなどを通じ連携を図ると共に、他の委員会の事業への参加などを通じて、世代を超えた相互理解と新たな発見を図ることを目標にします。

(3) 新提唱クラブ（守口イブニングRC：大阪国際 大和田中学校・高等学校）の参加を機に、インターアクト活動を新たな視点から見直し、より積極的な活動推進を図ります。

(4) 提唱ロータリークラブのさらなる増加をめざして、提唱クラブの有無を問わず全ロータリアンの理解を深め、その参加を図るよう努めます。

○活動計画

- ・海外研修…海外インターアクターとの交流を図る中で国際理解と親善を深め、国際的視野を持つリーダーの育成に寄与します。今年は8月5日～8日台湾台北第3520地区を訪問します。
- ・クラブ合同会議…地区委員及び各校顧問並びにインターアクター代表と共に活動方針の確認や活動計画、概況状況の報告を行い、情報交換を行います。
- ・年次大会…地区及び各校インターアクトクラブの活動報告を行い、奉仕の精神と活動意義の再確認を行います。
- ・SCRUM発行…年間の活動をまとめた活動誌「SCRUM」を編集・発行します。
- ・新入生歓迎会…各校の新入生と共に親睦交流を深め、奉仕の精神と活動への動機づけを目標に行います。

青少年交換委員会

委員長	山本 喬一 (大阪天満橋RC)
副委員長	磯田 郁子 (大阪東淀ちゃやまちRC)
	稲邑 清也 (千里RC)
委員	辻村 和弘 (大阪大手前RC)
	河畑 誠治 (東大阪RC)
	松岡 一郎 (大阪RC)
	中田 有紀 (茨木東RC)
	井村 周平 (大阪心斎橋RC)
	太田 敏一 (大阪西南RC)
	西邨 智雄 (香里園RC)
	片淵 正一 (大阪天王寺RC)
	出口 統士 (大阪帝塚山RC)

○活動方針

「青少年交換」は参加した学生だけでなくそれに関わるすべての人々が異文化に接する機会を得ることが出来て国際理解と平和の推進に役立つ重要な国際ロータリー公式プログラムのひとつです。参加した学生には派遣国での生活や他国からの参加者との交流で生涯にわたって国際的に活躍出来る資質を身につけてもらうとともに、将来のロータリアンになってもらうべく奉仕の精神を身につけてもらえるよう研修会等を企画してまいります。また交換期間を通じて参加学生の目的遂行と安全確保のため派遣先との情報交換や危機管理体制の確立に努めてまいります。また、地区内に広くホストファミリーとして参加して頂けるロータリアンや協力家庭を募集してこのプログラムへの参加者の拡大に取り組んでまいります。

○活動計画

1. 青少年交換人数

長期交換派遣生 (約1年間) : 9名	短期交換派遣生 : 若干名
長期交換受入生 (約1年間) : 10名	短期交換受入生 : 若干名
交換相手国 : アメリカ3名 カナダ1名 フランス2名 ブラジル2名 フィンランド1名	

2. 研修会

派遣生候補生 : 1次選考後、プログラムの理解と語学力 (発表力) の向上を目的として毎月1回 (9回程度) のオリエンテーションを行う。

来日学生 : 一泊研修、東京旅行、広島旅行、ROTEX行事を通じて日本文化とロータリー活動の理解を深めてもらう。

3. 危機管理

ロータリー章典に定める保険への加入確認と地区危機管理委員会の方針に基づいた危機管理体制の確立に取り組む

4. ROTEX（青少年交換学友会）活動への支援

青少年交換学生と同世代である彼らのサポートはこの事業に不可欠でありまた国際感覚を身につけた彼らの実践の場としても活用してもらえるよう活動の支援と協力をしてまいります。また、地区内の他の青少年部門との活動への参加も計画してまいります。

5. ホストファミリーの確保

プログラムに直接参加しないクラブに働きかけホストファミリーとしての参加をお願いしてまいります。

国際奉仕部門

国際奉仕委員会

委員長	安井 一男 (新大阪RC)
副委員長	糸川千恵子 (大東中央RC)
	岩上 高幸 (茨木西RC)
委員	小林 哲 (吹田西RC)
	栗原 大 (大阪フレンドRC)
	木田 昌宏 (吹田西RC)
	嶽下 勇治 (大阪中之島RC)
	坂本 勝男 (大阪なにわRC)
	宮崎 正人 (高槻東RC)
	前田要之助 (大阪東淀ちゃやまちRC)

○活動方針

次年度の国際奉仕委員会のスローガンは R I 財団が目指す「世界でよいことをしよう」です。世界のさまざまな地域で問題を抱えている人々に対し、「世界でよいことをする」を企画して、その実現に向かって、さらに進んで行く年度にしたいと考えます。ロータリークラブが最も優れた世界的な奉仕団体であることを認識し、その誇りと自覚を持つ機会を与えてくれる、そして何よりもプロジェクトを通じて、大きな達成感と満足感を体感できるのは、国際奉仕活動であると考えます。多くのクラブが「世界でよいことをしよう」を実現できますように、様々なサポートを行って参ります。

*** 2014 - 2015 年度は、下記の重要な変更がありました。**

- ① 1 件あたりのグローバル補助金プロジェクトに申請可能な D D F は、代表提唱の場合 20,000 ドルまで、共同提唱の場合は 5,000 ドルまでとします。

D D F を申請する代表提唱クラブは、申請 D D F 額の 10 % 以上を拠出する必要があります。

年度内に代表提唱クラブとして D D F を申請できるのは原則として 1 プロジェクトですが、現在プロジェクトを進行中で、最終報告書を財団本部に未提出で、ファイルが正式にクローズしていない代表提唱クラブは、新たな D D F を申請する事はできません。一方、共同提唱クラブの場合は、上記に関係なく申請が可能です。

- ② 2013 - 2014 年度は多くのクラブが活発な人道的国際奉仕プロジェクトを実施いたしました。国際奉仕基金の一定の役割と成果は達成されたとの判断から、暫定措置として 2014 - 2015 年度の国際奉仕基金の徴収は行いません。

○活動計画

- ① グローバル補助金 (G G) や地区補助金 (D G)、地区財団活動資金 (D D F) の申請をサポート
- ② 国際奉仕プロジェクトの申請内容の審査
- ③ 新たな国際奉仕プロジェクト案件を紹介
- ④ 海外クラブとの交流や友好クラブ・姉妹クラブ 締結へのサポート
- ⑤ ニュースレターの発行 (随時情報を発信いたします)
- ⑥ 国際奉仕活動状況のアンケート調査と分析

各クラブの国際奉仕活動に関するアンケート調査を下記の質問内容で 2 回 (7 月と 12 月) 実施いたします。ご協力をお願いします。

質問内容

- ・国際奉仕活動全般について
- ・人道的国際奉仕プロジェクトについて
- ・友好クラブや姉妹クラブとの活動について
- ・2013－2014年度に承認された人道的国際奉仕の活動の進捗状況について

⑦クラブ国際奉仕委員長会議の開催

第1回 クラブ国際奉仕委員長会議 H26年8月23日(土) 午前9：30～11：30
会場：葉業年金会館 テーマ：「ロータリーの人道的国際奉仕活動の役割と重要性」

プログラム

- ・基調講演：タイ王国大阪総領事 ウイット・チットウィーマン
- ・タイ、カンボジアでの人道的国際奉仕プロジェクト事例発表
- ・2014年シドニー世界大会と現地RCとの国際交流報告、2015年サンパウロ世界大会の概要

第2回 クラブ国際奉仕委員長会議 H27年1月24日(土) 午前9：30～11：30
会場：葉業年金会館 テーマ： 未定です

⑧国際ロータリー世界大会の宣伝と参加への勧誘

2015年6月7日～10日にブラジルのサンパウロで開催されます

⑨国際奉仕基金

2013－14の年度の2660地区の活発な人道的国際奉仕活動の実績を鑑み国際奉仕基金は一定の役割と成果を果たしたとの判断から、暫定措置として2014－2015年度の国際奉仕基金の徴収は行いません。尚、保有基金残高については、2013－14年と同様に、引き続き国際奉仕プロジェクトの実施や支援に役立てて参ります。

参考：2013－2014年度の「国際奉仕基金」の利用実績

- ①カンボジアのグラフィス診療所への支援
- ②タイへの中古自転車の供与
- ③タイの学校保健室の整備への支援
- ④タイの学校集会場、食堂設備の支援

⑩各クラブへのサポート

I M組別地区担当を決めて、各クラブの国際奉仕活動をサポートします。

担当 I M 組	氏 名		
統 括	安井 一男	(ヤスイカズオ)	委 員 長
I M 1 組	栗原 大	(クリハラマサル)	委 員
	宮崎 正人	(ミヤザキマサヒト)	委 員
I M 2 組	岩上 高幸	(イワカミタカユキ)	副委員長
I M 3 組	坂本 勝男	(サカモトカツオ)	委 員
I M 4 組	糸川千恵子	(イトカワチエコ)	副委員長
I M 5 組	小林 哲	(コバヤシサトシ)	委 員
I M 6 組	嶽下 勇治	(タケシタユウジ)	委 員
I M 7 組	前田要之助	(マエダヨウノスケ)	委 員
I M 8 組	木田 昌宏	(キダマサヒロ)	委 員

ロータリー財団部門

地区財団監査委員会

委員長	岡部	泰鑑 (大阪城南RC)
委員	五味	千秋 (大阪心斎橋RC)
	山下	勝弘 (東大阪RC)

ロータリー財団委員会

委員長	溝畑	正信 (東大阪東RC)
副委員長	宮里	唯子 (茨木西RC)
委員	四宮	孝郎 (大阪西南RC)
	松下	和彦 (八尾中央RC)
	木村	芳樹 (大阪南RC)
	片岡	利雄 (大阪南RC)
PHSコーディネーター	辻川	功一 (大阪中央RC)

○活動方針

2013年7月1日からロータリー財団の新補助金制度 (Future Vision Plan) が全面導入され、本年度は2年目となります。各クラブとも新制度に懸命に取り組み、多くのクラブが成果を上げています。地区ロータリー財団部門委員会の補助金小委員会 (地区補助金・グローバル補助金担当グループ、奨学金・学友・ロータリー平和フェロウシップ担当グループ、職業研修担当グループを含む)、地区財団資金管理小委員会、資金推進小委員会、ポリオプラス小委員会とともに、新補助金制度が地区内各クラブに十分理解され、積極的に参加され、クラブの活性化に繋がるよう支援します。

新しい財団情報は、2014年7月および11月に開催されるロータリー財団地域セミナー、また財団本部からの情報を得て、クラブに還元を図ります。

○活動計画

ジョン・ケニー2014-15年度ロータリー財団管理委員長は財団目標を、

1. ポリオを撲滅する。今こそ目標を達成しよう。
2. 継続的な寄付を通じて、ロータリー独自かつ唯一の慈善事業を支援する。
3. 持続可能な教育的・人道的プロジェクトに参加することで、新しい補助金プログラムの発展を確かなものとする。
4. ロータリー平和センター・プログラムの推進と広報を通じて、世界理解、親善、平和を育む。
5. ロータリー財団の未来の健全性は自分たちにかかっていることを強調する

としており、この目標達成を目指します。

本年度当委員会は、

1. 地区補助金とグローバル補助金の各財団プログラムへの配分を決める。
2. 2013年5月に開催されたWHO総会で、ポリオの発生がこれまでの歴史の中で一番少ない状態であることが確認され、2013－2018年ポリオ根絶戦略プランが採択され、私たちは2018年までに世界からポリオを根絶することをあらためて決意した。今ここで根絶に失敗すると永久にポリオ根絶は不可能となると考えられ、Endgame Planを可能とするため引き続きの寄付協力をお願いする。
3. ロータリー平和フェロシップ、グローバル補助金奨学金および地区補助金奨学金プロジェクト、グローバル職業研修チームプロジェクト、人道的プログラムのグローバル補助金プロジェクトおよび地区補助金プロジェクトの計画を推進する。
4. 補助金の資金源はロータリアンの寄付金であり、寄付増進に努める。
5. クラブの参加資格を認定して、クラブが補助金の資金管理、報告に関する体制の手続きを実施する。
6. 地区財団セミナー、クラブ財団委員長会議、補助金管理セミナーを通じて財団補助金への理解を深め、積極的に取り組めるよう支援する。
7. 財団学友会（元財団奨学生、元GSEメンバー）の活動を支援し、さらに新学友の積極的な参加を奨励し、新補助金制度に積極的に関わっていただくようにする。
8. 地区ホームページ、ガバナー月信、ニュースレター等を通じて財団情報を提供する。

資金推進小委員会

委員長	松下	和彦 (八尾中央RC)
副委員長	檜皮	悦子 (大阪中之島RC)
委員	今西	敦之 (八尾RC)
	吉田	悦治 (大阪大淀RC)
	山村	幸久 (大阪梅田東RC)
	秋元	貞夫 (大阪堂島RC)

○活動方針

ロータリーの運動の主役はクラブにあります、そしてクラブの管理運営や奉仕活動はクラブの自主性に有ります。

しかしクラブ運営に置いて、運営会費の徴収に関して、運営が真実であるかどうか会員に公平であるかどうか、会員のためになっているのか等、客観的に考えてクラブの運営のための会費に問題がないか、よって奉仕活動やまたそのための資金の調達、そして私達皆が協調すべき年次基金や、恒久基金、指定された基金への寄附行為にブレーキが物理的や心理的要因を含め作用していないかを調査し、会員数の減少の理由が資金調達の不足とするに当てはめる考えを少し改めた方向で、多方面にわたり意見を交換しあう必要があります。無論会員増強は必須であります。

奉仕はその行動によって表されることをご確認いただきます。

○活動計画

- ・年次基金の理解を推進し、すべての会員に財団への寄附行為をお願いします。
- ・ゲイリーC. K. ホアンR I 会長が、全ガバナーに財団に寄付との目標が成し遂げられました。これに加えクラブ会長にも、金額にかかわらず、財団にさらなる寄付することが推奨されていることをご理解いただきます。
- ・財団への寄付の仕方には様々な方法があることを御承知いただきます。
- ・ロータリーカードの有効性、とりわけその利用方法をご提案しご理解いただきます。
- ・財団への貢献クラブ、また個人に対して認証、表彰をいたします。
- ・地区大会では資金推進小委員会の活動をご紹介します。
- ・当委員会の開催を少なくとも4回おこないます。推進委員会会合時には特に財団関係委員長に、ご出席いただき意見交換の時間を頂きます。
- ・クラブ様に向けた必要なアンケートをさせていただきます。

ポリオプラス小委員会

委員長	木村	芳樹	(大阪南RC)
副委員長	杉村	雅之	(大阪中之島RC)
委員	山片	重房	(東大阪みどりRC)
	宮本	理恵	(大阪アーバンRC)
	三好	えり子	(大阪そねざきRC)
	榊原	春枝	(大阪柏原RC)
	松井	研次	(大阪東南RC)

○活動方針

ポリオ撲滅はロータリーの、そして人類の夢です。

1988年以来、世界のポリオ撲滅活動の中心的役割を担ってきたロータリー。その活動がいよいよ最終段階になりました。ただ、ポリオ常在国の三カ国の内、パキスタンでいまだに猛威をふるっています。政治的問題のためポリオワクチンの投与が思うようにいかないためです。そして、残念なことにそのまわりの非常在国に少なからずポリオが伝搬しています。

今ここで手をこまねいたら、今までの苦勞が無に帰してしまいます。ポリオ撲滅は人類の未来への投資です。ポリオの無い世界が実現すれば、撲滅しなければこれからも続く世界でついやされている莫大なポリオ防止の費用が必要なくなります。

ポリオ撲滅は我々ロータリアン一人一人がポリオ撲滅の必要性を理解し周りの人に伝え、ともに活動することで達成出来ます。

地区財団ポリオ小委員会では、財団セミナーやクラブ財団委員長会議、そして各クラブでの卓話などを通して地区内ロータリアンの一人一人の理解を深め、ロータリアン自ら周りの人達に伝えていただくようポリオの情報を提供します。また、地区で計画されているロータリーデーに参加し、一般の人達にも直接伝えたいと思います。また地区広報委員会の協力を得てポリオ撲滅の公共イメージ広報、また地区資金推進委員会との協力でポリオ募金の推進活動を行います。

○活動計画

- 財団セミナーやクラブ財団委員長会議など地区会合でのポリオ情報の発信
- 地区内各クラブ独自でポリオ関係の卓話の開催を奨励し、必要ならばポリオ小委員会による卓話を提供する
- 地区広報委員会のご協力でポリオの公共イメージ広報とウェブ上でのポリオ情報の発信
- 地区財団資金推進委員会ご協力でポリオ募金の推進
- 地区主催のロータリーデーへの地区委員会としての参加

地区財団資金管理小委員会

委員長 片岡 利雄 (大阪南RC)
委員 和氣 主 (大阪北梅田RC)
天野 正亮 (東大阪東RC)

○活動方針

新補助金制度が2013年7月1日から実施され、前年度、新制度の下での初めての地区補助金事業が実施されましたが、その資金管理の検証と評価につき、補助金小委員会から情報提供を得た結果、各ロータリークラブにおいて、MOUの実施につき、問題点が少なからず存在することが明らかになっております。

今年度、当委員会は、地区の各ロータリークラブからの補助金申請段階から審査に関わり、補助金小委員会・グローバル補助金グループと連携しながら、各ロータリークラブの補助金管理の支援を行います。

そのことを通じて、今年度も前年度に引き続き、各ロータリークラブのMOUの十分な理解と実施を支援いたします。

○活動計画

- 1 地区内全ロータリークラブからMOUの提出をして頂くよう支援します。
- 2 補助金管理セミナーの実施を支援します。
- 3 各ロータリークラブからの補助金申請段階から審査に関わり、補助金小委員会・グローバル補助金グループと連携しながら、各ロータリークラブの補助金管理の支援を行います。
- 4 地区の行事において、補助金の参加資格の認定、補助金管理についての理解を深めて頂くよう活動し、支援いたします。
- 5 補助金管理についての情報（注意すべき点等）を発信いたします。

補助金小委員会

委員長 四宮 孝郎 (大阪西南RC)

○活動方針

新補助金制度が導入され2年目を迎え、クラブによる財団補助金を利用した奉仕活動が円滑に実施されるよう、地区における手続き及び要件の簡素化を図る。

又、申請書作成から報告書作成に至るまで、クラブの手続きが円滑に進むよう支援する。

○活動計画

- 2014年8月30日 地区財団セミナー
- 2014年11月1日 クラブ財団委員長会議
- 2015年2月28日 財団補助金管理セミナー
- その他
 - ・財団合同委員会
 - ・財団補助金小委員会グループ合同委員会

地区補助金・グローバル補助金担当グループ

リーダー	大野	康裕	(大阪北RC)
委員	山本	博史	(大阪南RC)
	紙谷	正行	(吹田RC)
	長屋	興	(吹田西RC)
	吉田	政雄	(茨木RC)
	塩野	秀作	(大阪RC)
	今西	良介	(大阪南RC)
	小林	和由	(大阪咲州RC)

○活動方針

- ・FVPについての各クラブへの理解を一層促進する。
- ・「補助金ハンドブック」と「授与と受諾の条件」を用いて補助金申請方法の各クラブへの周知徹底を図る。
- ・補助金申請の審査の公平性と円滑化を図る。

○活動計画

- ・下記会合を通して補助金を活用した奉仕プロジェクトの推進と、次年度への準備について研修を実施する。
 - 「地区ロータリー財団セミナー」(2014年8月30日)
 - 「クラブロータリー財団委員長会議」(2014年11月1日)
- ・「補助金管理セミナー」(2015年2月28日)において補助金申請資格の認定を各クラブに得てもらう。
- ・地区国際奉仕委員会、地区社会奉仕委員会、地区財団資金管理小委員会、他の委員会と合同委員会又はオブザーバー参加。
- ・地区補助金(DG)・グローバル補助金DDFの申請審査。

奨学金・学友・R平和フェローシップ担当グループ

リーダー	阪上 博史 (茨木東RC)
サブリーダー	宮里 唯子 (茨木西RC)
委員	吉城 直孝 (東大阪RC)
	木下 恵美子 (大阪イブニングRC)
	土方 慶之 (茨木RC)
	岩橋 竜介 (東大阪中央RC)
	萬年 成泰 (千里RC)
	大谷 隆英 (大阪柏原RC)

○活動方針

グローバル補助金、地区補助金、平和フェローシップの奨学金制度を有効に活用し、地域社会の発展や世界平和に貢献出来る優秀な奨学生を選抜する。新補助金制度2年目にあたり、2660地区における新しいロータリー奨学金制度の定着と理解を目指す。学友会の活性化を学友のメンバーとともに考え、支援する。

○活動計画

□奨学生募集・選考

2015～2016年度奨学生の募集活動と選抜試験及び奨学生候補者へのオリエンテーション実施

□世界平和フェローシップの募集・選考

2016年度ロータリー平和フェローの募集活動と選抜試験及び平和フェロー候補者へのオリエンテーション実施

□財団学友の活動支援

P S C例会・総会、奨学生帰国報告会、米山奨学生との交流会等の開催の支援

□広報活動

ロータリー財団月間における財団に関する卓話と広報活動、ロータリー奨学金で留学したP S C会員による卓話の実施

□奨学生受け入れ

海外からの奨学生に対する支援活動

□F V Pに対応した奨学金制度の規約作成

前年度の財団奨学金・学友委員会から新しい奨学金制度の規約作成を引継ぐ

クラブへのお願い

新しいロータリー奨学金制度をご理解頂くとともに、推薦とサポートをお願い致します。

職業研修チーム担当グループ

委員長	川本 典美 (大阪ネクストRC)
副委員長	水島 洋 (千里メイプルRC)
委員	松本 浩一 (大阪北RC)
	品川 芳洋 (八尾東RC)
	栗山 博道 (大阪中之島RC)
	三木 元昭 (大阪大手前RC)
	細川 祐介 (大阪南RC)

○活動方針

新補助金制度の下、V T Tは新しく誕生したプログラムです。

まず、V T Tというプログラムについての知名度を高め、いかに補助金を活用してどのようなプロジェクトを実施できるのかということをご理解いただけるように努めます。

また、2660地区でのV T Tの実施に向けて、地区委員会提唱でV T Tを実施できるように調査、実践にむけて取り組んでまいります。

○活動計画

V T Tの知名度アップにつとめ、クラブ訪問、卓話の機会をつくってまいります。

地区提唱でのV T Tが実施できるよう調査を行います。

V T T実施を希望されるクラブと連携をはかり、より効果的なプログラムとなるよう協力、協調してまいります。

米山奨学部門

米山奨学委員会

委員長	近藤 菜穂子 (大阪ネクストRC)
副委員長	福田 治夫 (守ロイブニングRC)
	古城 紀雄 (千里RC)
	田中 隆弥 (池田くれはRC)
委員	島井 宏子 (大阪北梅田RC)
	三木 得生 (豊中南RC)
	北山 治信 (東大阪みどりRC)
	堀田 修平 (枚方RC)
	堀 隆 (大阪東RC)
	岡部 倫正 (大阪城南RC)
	吉 馴 茂子 (大阪アーバンRC)
	鹿浦 英毅 (大阪北RC)
	石井 博章 (吹田RC)
	中川 和之 (大阪船場RC)
	西谷 雅之 (大阪城南RC)

○活動方針

米山奨学事業は将来、母国と日本の架け橋となって国際社会で活躍する優秀な学生を奨学することを目的としています。その財源は、全てロータリアンの寄付金を奨学金として支援いただいております。

委員会では、まず、受け入れをご希望くださった全てのクラブに優秀な奨学生をご紹介できるようにしたいと考えます。そのために本年度も、一人当たり30000円の寄付金目標とさせていただきます。一人でも多くのロータリアンに米山奨学事業のファンになっていただくために、①**推薦大学制度の充実**として、優秀な留学生を紹介していただく働きかけを大学に行います。②**奨学生の質的向上**として、オリエンテーションや面談、またイベントを通して米山奨学生として相応しい育成を行います。世話クラブの皆様、クラブの米山奨学委員長、カウンセラー様におかれましても温かいご指導をお願い申し上げます。

③**学友会の活性化**として、現在、海外に6つの学友会がありますので連携をとり、ロータリアンと将来的にも繋がっていきけるような仕組みづくりを構築していきたいと思っております。特に、奨学生を終了した学友会は、ロータリーに何か貢献できないかと考えています。皆様の姉妹クラブとの通訳や奉仕活動など、場を与えて頂けましたら幸いです。

以下、活動予定でございますのでご出席くださいますようお願いいたします。

○活動計画

月・日(曜日)	時 間	場 所	行 事 名
7月6日(日)	17:00～20:30	KKRホテル	学友会総会
7月10日(木)	14:00～16:00	ガバナー事務所	大学との意見交換会
7月26日(土)	10:00～12:00	薬業年金会館	クラブ米山委員長 カウンセラー研修会
9月6日(土)	13:00～17:00	OMMビル会議室	米山奨学セミナー
10月12日(日)	10:00～18:00	宝塚劇場	リクレーション (宝塚歌劇)
11月8日(土)	13:00～16:00	ホテルニューオータニ大阪	米山ふれあいスピーチコンテスト
1月17日(土)	9:30～15:00	大阪YMCA	2015年度採用面接試験
2月28日(土)	17:00～19:30	ハイアットリージェンシー大阪	米山奨学生終了生歓送会

災害支援委員会

委員長	福家	宏 (八尾中央RC)
副委員長	立野	純三 (大阪RC)
	宮里	唯子 (茨木西RC)
委員	溝畑	正信 (東大阪東RC)
	川上	大雄 (大阪ユニバーサルシティRC)
	初木	賢司 (くずはRC)
	丹羽	健二 (大阪西南RC)
	村橋	義晃 (大阪中之島RC)
	脇	隆俊 (大阪御堂筋本町RC)
	安井	一男 (新大阪RC)
	小林	和由 (大阪暁洲RC)

○活動方針

この委員会は、地区内全クラブからの東日本震災に対する緊急支援金の効果的利用を目的として2011年6月に立ち上げられました。呼称は昨年度まで「災害支援プロジェクト(委員会)」でした。震災当初地区内全クラブからの緊急支援金額は巨額に上りました。この浄財は日本ガバナー会に送金されたものの、一部が被災地区に送金されたのみで大半が緊急支援に活用されなかったため、岡部PGは地区への返金を要請されて資金が戻ってきました。地区内クラブからも返金の要請があり、クラブへの返金も行われ、その残金とその後地区内クラブからの新たな寄付金を加えた6千万円強の資金が「地区基金」となりました。これを有効活用するために「災害支援プロジェクト(委員会)」は、現地視察の実施や被災地区からの情報提供をまとめ、これを地区内に開示致しました。また地区内クラブからの支援プロジェクトに対する補助金を提供致しました。そして2012年7月までに45件の価値ある復興支援が実施されました。岡部泰鑑パストガバナーは142ページにおよぶ「東日本震災復興支援、災害支援プロジェクト報告書」を作成され、詳細な支援内容や収支報告を掲載の上、地区内全クラブに配付されました。

上記報告書が示すように、2012年7月時点の「地区基金」は70万円余りとなり、発足当初の基金は枯渇に近い状態となりました。しかしこの後の高島年度も地区内の多くのクラブからの寄付金が集まり、寄付総額は600万円程度、プロジェクトへの支出は、480万円程度となり、2013-2014年度、年初の「地区基金」は120万円程度となりました。

2013-2014年度も引き続きクラブから「地区基金」への寄付金が寄せられ、東日本震災復興支援はもとより、インドの洪水災害やフィリピンの巨大台風災害への支援のために活用されました。これらの詳細は高島凱夫災害支援プロジェクト委員長により、毎月のガバナー月信に明確に掲載されておりますので、ご参照下さい。

前置きが長くなりましたが、今年度当委員会は寄付金を募ることはせず、災害復興支援関連の**情報収集**と地区委員会や地区内クラブへの**情報発信**を行って参る予定でございます。ただ従来通りの形の継続を希望される声もありますので、地区社会奉仕委員会や地区国際奉仕委員会と十分に協議の上、方針を決定したいと考えております。

基本的には東日本震災復興支援は各クラブまたは、複数のクラブが被災地域の地区やロータリークラブなどと直接話し合っ、ニーズに合った支援を続けて頂くのが望ましい姿であり、当委員会はそれをサポートして参りたいと考えております。

危機管理委員会

委員長	岡部	泰鑑 (大阪城南RC)
副委員長	立野	純三 (大阪RC)
	岩津	陽介 (大阪御堂筋本町RC)
委員	井上	善博 (東大阪みどりRC)
	山本	和良 (大阪南RC)
	鮫島	武信 (大阪南RC)
	山本	喬一 (大阪天満橋RC)
	近藤	菜穂子 (大阪ネクストRC)
	阪上	博史 (茨木東RC)
	川本	典美 (大阪ネクストRC)
	上場	俊哉 (高槻東RC)
	林	邦彦 (大阪西RC)
	松井	圭子 (大阪アーバンRC)
	菅沼	清高
	畑山	博史

○活動方針

当委員会の目的は、青少年奉仕部門（米山も含む）活動のすべてを安全に遂行するため青少年奉仕部門委員長会議のメンバーが主な構成委員となり、同会議の議長が委員長となり、副委員長にガバナーエレクト立野純三（大阪）地区研修委員岩津陽介（大阪御堂筋本町）、地区広報委員林邦彦（大阪西）、元青少年交換留学生松井圭子（大阪アーバン）を加え、更に外部からの構成委員を示唆されているので、昨年に引き続き元警察庁官房長官の菅沼清高氏、大阪日日新聞参与の畑山博史も加わっていただき、計15名が委員会の構成メンバーとなり不測の事態に対処する態勢を整えています。今年度中に不測の事態に対する手引書を作成する予定です。また時に応じ前年度の委員も参加していただきます。

地区大会実行委員会

委員長	板垣	美一	(大阪帝塚山RC)
副委員長	竹川	修司	(大阪帝塚山RC)
幹事	田邊	千尋	(大阪帝塚山RC)
	出口	統士	(大阪帝塚山RC)
大会会計	小島	康秀	(大阪帝塚山RC)
ホストクラブ会長	清水	常雄	(大阪帝塚山RC)

○活動方針

メンバー相互の交流と親睦を深める場を提供すると共に、多様な講演と会員相互の討議により地区内の活性化を計り、ロータリーの目的を推進します。

○活動計画

不要な支出を削減し、地区大会費用を有効に活用します。

今年度の大会では、地区大会費用の1/3以上を講師・演者等のイベントの直接費用に充当し、魅力ある大会を開催したいと存じます。

ロータリーの友

地区代表委員 藤田 誠一郎 (大阪帝塚山RC)

○活動方針

「ロータリーの友委員会」に泉ガバナーの代理として又地区代表として、委員会に出席しガバナーの意向を踏まえた提言を行います。

ロータリーの友を多くの方が購読し活用下さる様奨励します。

○活動計画

1. 多くの会員が友を購読して頂けるように、又活用をして頂けるように呼びかけます。
2. 地区広報委員会に出来る限り出席し、地区情報を「友」の委員会に提言いたします。
3. 各クラブ会長に例会時の会長の挨拶の中で「友」を活用して戴けるように情報を発信いたします。
4. 「友」への投稿を奨励いたします。
5. 「ロータリーの友」委員会の情報を持ち帰り、各クラブに発信いたします。

地区財務委員会

委員長	小島	康秀	(大阪帝塚山RC)
委員	片岡	基博	(八尾中央RC)
	吉川	邦英	(大阪RC)
会計	辻本	友明	(大阪帝塚山RC)

○活動方針

地区会計の内容

地区会計は明確な定義ではありませんが、一般会計・特別会計・独立会計に大別されます。

- (1) 一般会計
 - ① 地区運営資金
 - ② 地区活動資金
- (2) 特別会計
 - ① 地区大会資金
 - ② 米山奨学生活動費
 - ③ 国際奉仕基金
 - ④ R I 規定審議会派遣積立金
 - ⑤ 危機管理積立金
 - ⑥ 地区基金
- (3) 独立会計
 - ① 地区大会会計
 - ② 地区協議会会計

- (1) 一般会計は地区会計の中心であり、「地区運営資金」と「地区活動資金」から構成されます。「地区運営資金」は地区主催の各種会合費やガバナー事務所諸経費・ガバナー月信発行費等が主たる資金用途となります。「地区活動資金」は地区に属する各種委員会の奉仕活動費です。
- (2) 特別会計は一定の目的に沿った収支や積み立てを計算管理する単独会計です。年度により増減することがあります。
- (3) 独立会計は地区の重要行事である地区大会と地区協議会をそれぞれ独立した部門として計算管理するもので、監査も独立して受けるものとします。

基本方針

- (1) 会員一人あたりの負担額は前年度と同額とします。
- (2) 地区資金の「地区運営資金」と「地区活動資金」への配分割合も変更しません。

○活動計画

予算編成

会員数は、過年度の推移を見ながら、2014年7月1日における2660地区会員総数を3,650名と設定しました。

会員一人あたりの負担額は前年度と同額の22,000円とし、その配分は以下のとおりとします。

- ① 地区運営資金 @ 10,000円 × 3,650名 = 3,650万円
- ② 地区活動資金 @ 7,000円 × 3,650名 = 2,555万円
- ③ 地区大会資金 @ 5,000円 × 3,650名 = 1,825万円

なお地区大会については@ 5,000円の別途登録料のご負担をお願いいたします。

「地区運営資金」はこれまでの決算実績を参考に、できる限り増額を抑える方向で検討いたしました。今年度は止むを得ないものとして消費税増税の影響を見込んでおりますが、それ以外は前年同様経費削減に努めます。

会議費はPETS・チーム研修セミナー・地区合同委員会・財団セミナーなどの会場費・資料作成費用であります。

「地区活動資金」は地区委員長から事業予定と希望予算額をご提示頂き、それらに対するヒアリングと意見交換、過去の支出実績等も勘案し、費用対効果の高い奉仕活動を実践すべく決定しました。クラブ奉仕部門については、広報委員会よりロータリー活動を広く一般にも理解いただき、増強にも繋がりたいと、ホームページの充実・テレビCMの導入を図るものとします。

本年重点項目として青少年交換学生数を10人に倍増し、100万円の増額予算としました。今年度のRI会長DG協調事業費は、RIの戦略計画を実践すべくロータリーフェスティバルの開催費用に充てる予定であります。

「危機管理積立金」、「地区基金」については、既に目標額が積み立てられたものとして新たな積み増しはいたしません。

「RI規定審議会派遣積立金」は、三年に一度開催の同審議会派遣に必要と見込まれる100万円を超える額を「地区活動資金」に戻しました。(通常年度は30～40万円の繰入れ)

以上の方針に基づき地区会計の予算執行の進捗状況を適宜監視し、健全性及び透明性の実現に努めてまいります。

ロータリーフェスティバル実行委員会

委員長 近藤 雅臣 (千里RC)
副委員長 片山 一步 (大阪帝塚山RC)
上場 俊哉 (高槻東RC)
担当地区委員会 広報委員会

○活動方針

RI会長提案のロータリーデーを地区として実現するために、ロータリーフェスティバルを実施いたします。

一般の方々にロータリー活動の認知度の向上を図ることを目的と致しますが、PR活動に終わる事なく、地区全員の皆様のみならず、一般の方々にも参加いただき、参加者全員が主役のロータリー活動を実施したいと思っております。詳細はこれからの課題であります。具体的な奉仕活動を地域の方々と共に行い、地域への貢献を通じ、ロータリーへの理解を深めるようなイベントにしたいと考えております。

日時：2015年5月5日 10:00 - 20:00

場所：中之島公会堂 およびその周辺（歩行者天国）

参加：全クラブ、全地区委員会の皆様のご参加をお願いいたします

主宰者：ガバナー 泉 博朗

委員会：ロータリーフェスティバル実行委員会

主委員会：地区広報委員会

主クラブ：大阪帝塚山RC

協クラブ：大阪咲洲RC

大阪アーバンRC

ロータリーファミリー

ローターアクトクラブ

インターアクトクラブ

チームライラ

青少年交換学生

米山奨学生・米山学友会

地区資金・特別会計 予算

■ 地区運営資金

【収入の部】 (単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
1. 地区資金	36,000,000	36,500,000	500,000
2. RI助成金	1,600,000	1,600,000	0
3. 雑収入	600,000	600,000	0
収入合計	38,200,000	38,700,000	500,000

【支出の部】 (単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
A. 負担金			
1. ガバナー会	760,000	760,000	0
2. ロータリー文庫	1,140,000	1,140,000	0
3. 平和奨学生支援協力金	60,000	60,000	0
小 計	1,960,000	1,960,000	0
B. 会議費			
1. PETS・チーム研修セミナー	1,500,000	1,550,000	50,000
2. 地区合同委員会	850,000	850,000	0
3. 財団セミナー	550,000	600,000	50,000
4. DPGGE会議	0	0	0
5. G補佐・地区幹事会	20,000	20,000	0
6. GE国際協議会	730,000	730,000	0
7. 予備費	100,000	100,000	0
小 計	3,750,000	3,850,000	100,000
C. ガバナー関係費			
1. ガバナー事務所経費*	30,700,000	31,000,000	300,000
2. ガバナー月信	5,300,000	5,400,000	100,000
3. ガバナー補佐経費	70,000	70,000	0
4. 直前DG記念品	100,000	100,000	0
小 計	36,170,000	36,570,000	400,000
D. 地区基金への繰入金	0	0	0
E. 総予備費	120,000	120,000	0
支出合計	42,000,000	42,500,000	500,000
収支差額	-3,800,000	-3,800,000	0
前年度繰越金	18,850,054	15,050,054	-3,800,000
次年度繰越金	15,050,054	11,250,054	-3,800,000

■ ガバナー事務所経費

【収入の部】 (単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
1. 家賃・光熱費	4,500,000	4,500,000	0
2. 給料・手当	17,000,000	17,000,000	0
3. 厚生費	2,500,000	2,500,000	0
4. コンピューター関係費用	1,300,000	1,400,000	100,000
5. DGGE交通会合費	1,000,000	1,000,000	0
6. 印刷費	1,400,000	1,500,000	100,000
7. 交通通信費	1,500,000	1,600,000	100,000
8. 文献費	100,000	100,000	0
9. 事務用品費	600,000	600,000	0
10. 什器備品費	200,000	200,000	0
11. 雑費	500,000	500,000	0
12. 予備費	100,000	100,000	0
合 計	30,700,000	31,000,000	300,000

■ 地区活動資金

【収入の部】 (単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
1. 地区資金	25,200,000	25,550,000	350,000
2. RI規定審議会派遣積立金戻入	0	323,560	323,560
収入合計	25,200,000	25,873,560	673,560

【支出の部】 (単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
A. 地区委員会活動費			
1. DG指名(委)	20,000	20,000	0
2. 意義ある業績賞(委)	10,000	10,000	0
3. クラブ奉仕部門			
クラブ奉仕・拡大増強(委)	480,000	500,000	20,000
広報(委)	1,040,000	1,040,000	0
4. 職業奉仕部門			
職業奉仕(委)	240,000	260,000	20,000
5. 社会奉仕部門			
社会奉仕(委)	400,000	400,000	0
6. 青少年奉仕部門			
青少年合同委員長会議	20,000	20,000	0
青少年活動(委)	4,500,000	4,500,000	0
ローターアクト(委)	4,800,000	4,800,000	0
インターアクト(委)	1,950,000	2,000,000	50,000
青少年交換(委)	5,500,000	6,500,000	1,000,000
7. 国際奉仕部門			
国際奉仕(委)	410,000	420,000	10,000
8. ロータリー財団部門 (計)			
ロータリー財団(委)	570,000	570,000	0
財団地区補助金G補助金(G)	20,000	20,000	0
職業研修チーム(G)	1,600,000	1,600,000	0
国際奨学金・学助・平和フェロシップ(G)	390,000	570,000	180,000
資金推進小委員会	30,000	30,000	0
ポリオプラス小委員会	80,000	150,000	70,000
地区財団資金管理小委員会	50,000	50,000	0
補助金小委員会	80,000	50,000	-30,000
9. 米山奨学部門			
米山奨学(委)	400,000	580,000	180,000
10. 災害支援プロジェクト	100,000	100,000	0
11. RI規定審議会派遣積立金	400,000	0	-400,000
12. RIJYEC維持協力金	400,000	400,000	0
13. 危機管理積立金	0	0	0
14. 予備費	1,500,000	1,500,000	0
小 計	24,990,000	26,090,000	1,100,000
B. RI会長DG協調事業費	3,000,000	3,000,000	0
C. IM広報活動補助金	2,400,000	2,400,000	0
D. 研修委員会	1,200,000	1,200,000	0
E. ロータリー研究会準備基金	0	0	0
支出合計	31,590,000	32,690,000	1,100,000
収支差額	-6,390,000	-6,816,440	-426,440
前年度繰越金	20,655,178	14,265,178	-6,390,000
次年度繰越金	14,265,178	7,448,738	-6,816,440

■ 特別会計

1. 地区大会資金

【収入の部・支出の部】

(単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
前年度繰越金	7,964,697	9,318,346	1,353,649
地区資金	18,000,000	18,250,000	250,000
地区大会会計繰入額	25,964,697	27,568,346	1,603,649
地区大会会計戻入額	9,318,346	9,318,346	0
次年度繰越金	9,318,346	9,318,346	0

2. 米山奨学生生活動費

【収入の部】

(単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
(財)米山記念奨学会より	2,700,000	2,700,000	0
選考試験補助金	0	0	0
カウンセラー研修会補助金	0	0	0
ホームカミング補助金	0	0	0
レクリエーション登録料	0	0	0
米山奨学歓送迎会登録料	0	0	0
米山奨学からの補填金	0	0	0
地区活動資金からの補填	0	0	0
受取利息	0	0	0
収入合計	2,700,000	2,700,000	0

【支出の部】(米山活動費)

(単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
カウンセラー研修会	0	0	0
情報交換会	0	0	0
レクリエーション	2,700,000	2,700,000	0
選考会	0	0	0
歓送迎会	0	0	0
オリエンテーション	0	0	0
ホームカミング	0	0	0
米山奨学会学友会支援	0	0	0
米山委員長会議	0	0	0
(財)米山奨学会へ返金	0	0	0
スピーチコンテスト	0	0	0
支出合計	2,700,000	2,700,000	0
収支差額	0	0	0
前年度繰越金	0	0	0
次年度繰越金	0	0	0

3. 国際奉仕基金

【収入の部】

(単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
クラブ拠出金	0	0	0
寄附金	0	0	0
受取利息	0	0	0
収入合計	0	0	0

【支出の部】

(単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
奉仕活動費支出額	0	0	0
送金手数料	0	0	0
支出合計	0	0	0
収支差額	0	0	0
前年度繰越金	2,247,396	2,247,396	0
次年度繰越金	2,247,396	2,247,396	0

4. R I 規定審議会派遣積立金

【収入の部・支出の部】

(単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
前年度繰越金	923,560	1,323,560	400,000
地区活動資金繰入額	400,000	0	-400,000
地区活動資金戻入額	0	323,560	323,560
審議会派遣費用支払額	0	0	0
次年度繰越金	1,323,560	1,000,000	-323,560

5. 危機管理積立金

【収入の部・支出の部】

(単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
前年度繰越金	10,000,000	10,000,000	0
地区活動資金繰入額	0	0	0
危機対応支出額	0	0	0
次年度繰越金	10,000,000	10,000,000	0

6. 地区基金

【収入の部・支出の部】

(単位:円)

科 目	13-14予算	14-15予算	増 減
前年度繰越金	20,000,000	20,000,000	0
地区運営資金繰入額	0	0	0
取崩額	0	0	0
次年度繰越金	20,000,000	20,000,000	0

2016年規定審議会・地区委員会

委員長	横山	守雄	(大阪中央RC)
副委員長	大谷	透	(大阪西南RC)
	岩田	宙造	(大阪南RC)
	福家	宏	(八尾中央RC)
	立野	純三	(大阪RC)
	川上	富清	(大阪帝塚山RC)
(幹事)	川崎	壽	(大阪中央RC)

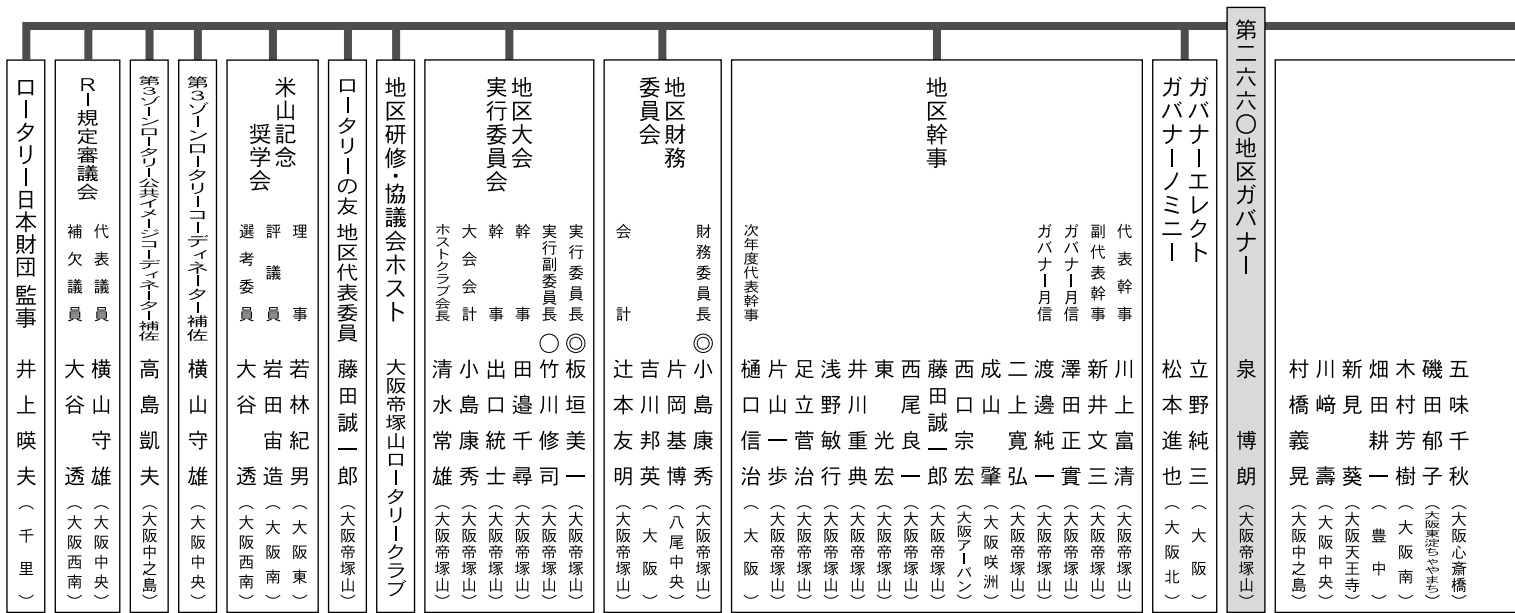
R Iの立法機関である規定審議会は三年に1度シカゴで開催されますが、今回は2016年4月に予定されており、当地区としてこれに対応するため、今年度泉Gにより、「2016年規定審議会・地区委員会」が設置されました。

当委員会としては、地区に提出された立法案を精査、調整し、地区大会に上程して採決を得た後、R I事務総長へ送付するまでの手続を担当します。

R I規定審議会への立法案（制定案・決議案）はクラブ及び地区が提案できます。各クラブへは立法案提出の案内を致しましたが、各委員会におかれても、地区として提案して欲しい立法案がありましたら、以下の要領で提案書をご提出下さい。ガバナー補佐の皆さんにおかれても、クラブ訪問に際して提案のご案内を頂ければ幸いです。

- 1 提出期限 平成26年10月31日までに当地区ガバナー事務所へ提出。
R Iへの提出期限は同年12月31日ですが、地区大会での承認が必要ですし、地区大会前に当委員会での検討その他の手続を考慮して10月末を提出期限としております。
- 2 提案書 提出する立法案には以下の項目を含めて下さい。
 - ① 提案の趣旨および効果に関する300語以内の説明文
 - ② 提案する組織規定の変更を入れた（下線又は取消線使用）
ワード文書（組織規定のワード文書は、ロータリーのウェブサイト（www.rotary.org/myrotary/ja）の「ラーニング&参考資料」のメニューにある「組織規定」からダウンロードできます）
- 3 地区の承認 地区として提案を決めた立法案は平成26年12月開催の地区大会で承認を得ます。地区大会で承認を受けていない立法案は、規定審議会に提出できません。
- 4 立法案提出 地区大会で承認を受けた立法案は、平成26年12月31日までにガバナーからR I事務総長に提出します。

【詳細は、2013年手続要覧113頁以下をご参照下さい。】



顧問 岡部 泰鑑 (大阪城南)

- 危機管理委員会**
- ◎ 岡部 泰鑑 (大阪城南)
 - 立野 純三 (大阪)
 - 岩津 陽介 (大阪御堂筋本町)
 - 井上 善博 (東大阪みどり)
 - 山本 和良 (大阪南)
 - 鮫島 武信 (大阪南)
 - 山本 喬一 (大阪天満橋)
 - 近藤 菜穂子 (大阪ネクスト)
 - 阪上 博史 (茨木東)
 - 川本 典美 (大阪ネクスト)
 - 上場 俊哉 (高槻東)
 - 松井 圭子 (大阪アーバン)
 - 林 邦彦 (大阪西)
 - 菅 沼清高
 - 畑 山博史

- 災害支援委員会**
- ◎ 福家 宏 (八尾中央)
 - 立野 純三 (大阪)
 - 宮里 唯子 (茨木西)
 - 溝畑 正信 (東大阪東)
 - 川上 大雄 (大阪ユニバーシティ)
 - 初木 賢司 (くずは)
 - 丹羽 健二 (大阪西南)
 - 村橋 義晃 (大阪中之島)
 - 脇 隆俊 (大阪御堂筋本町)
 - 安井 一男 (新大阪)
 - 小林 和由 (大阪咲洲)

- 2016年規定審議会・地区委員会**
- ◎ 横山 守雄 (大阪中央)
 - 大谷 透 (大阪西南)
 - ◇ 川崎 壽 (大阪中央)
 - 岩田 宙造 (大阪南)
 - 福家 宏 (八尾中央)
 - 立野 純三 (大阪)
 - 川上 富清 (大阪帝塚山)

顧問 岩田 宙造 (大阪南)

- 米山奨学委員会**
- ◎ 近藤 菜穂子 (大阪ネクスト)
 - 福田 治夫 (守口リビング)
 - 田中 隆弥 (池田くれは)
 - 古城 紀雄 (千里)
 - 島井 宏信 (大阪北梅田)
 - 島井 宏信 (東大阪みどり)
 - 北山 木得生 (豊中南)
 - 堀田 修平 (枚方)
 - 堀 隆 (大阪東)
 - 岡部 倫正 (大阪城南)
 - 吉 馴子 (大阪アーバン)
 - 西谷 俊之 (大阪城南)
 - 中川 和之 (大阪船場)
 - 鹿浦 英毅 (大阪北)
 - 石井 博章 (吹田)

- 資金推進小委員会**
- ◎ 松下 和彦 (八尾中央)
 - 檜皮 悦子 (大阪中之島)
 - 今西 敦之 (八尾)
 - 吉田 悦治 (大阪大淀)
 - 山村 幸久 (大阪梅田東)
 - 秋元 貞夫 (大阪堂島)

- ポリオプラス小委員会**
- ◎ 木村 芳樹 (大阪南)
 - 杉村 雅之 (大阪中之島)
 - 山片 重房 (東大阪みどり)
 - 宮本 里恵 (大阪アーバン)
 - 三好 えり子 (大阪ねざぎ)
 - 榊原 春枝 (大阪柏原)
 - 松井 研次 (大阪東南)

- 地区財団資金管理小委員会**
- ◎ 片岡 利雄 (大阪南)
 - 和氣 主 (大阪北梅田)
 - 天野 正亮 (東大阪東)

- 補助金小委員会**
- ◎ 四宮 孝郎 (大阪西南)

顧問 大谷 透 (大阪西南)

- 地区財団監査委員会**
- ◎ 岡部 泰鑑 (大阪城南)
 - 五味 千秋 (大阪心齋橋)
 - 山下 勝弘 (東大阪)

- ロータリー財団委員会**
- ◎ 溝畑 正信 (東大阪東)
 - 宮里 唯子 (茨木西)
 - 松本 和彦 (八尾中央)
 - 木村 芳樹 (大阪南)
 - 片岡 利雄 (大阪南)
 - 四宮 孝郎 (大阪西南)
 - 辻川 功一 (大阪中央)
- ※ PHS コーディネーター

- 地区補助金・グローバル補助金担当グループ**
- ◎ 大野 康裕 (大阪北)
 - 山本 博史 (大阪南)
 - 紙谷 正行 (吹田)
 - 長屋 興 (吹田西)
 - 吉田 政雄 (茨木)
 - 塩野 秀作 (大阪)
 - 今西 良介 (大阪南)
 - 小林 和由 (大阪咲洲)

- 奨学金・学友・R平和フェロシップ担当グループ**
- ◎ 阪上 博史 (茨木東)
 - 宮里 唯子 (茨木西)
 - 吉城 直孝 (東大阪)
 - 岩橋 竜介 (東大阪中央)
 - 土方 慶之 (茨木)
 - 木下 美子 (大阪リビング)
 - 萬年 成泰 (千里)
 - 大谷 隆英 (大阪柏原)

- 職業研修チーム担当グループ**
- ◎ 川本 典美 (大阪ネクスト)
 - 水島 洋 (千里メイプル)
 - 松本 一 (大阪北)
 - 品川 浩洋 (八尾東)
 - 栗山 博道 (大阪中之島)
 - 三木 元昭 (大阪大手前)
 - 細川 祐介 (大阪南)

顧問 横山 守雄 (大阪中央)

- 国際奉仕委員会**
- ◎ 安井 一男 (新大阪)
 - 糸川 千恵子 (大東中央)
 - 岩上 高幸 (茨木西)
 - 栗原 大 (大阪フレンド)
 - 小林 哲 (吹田西)
 - 木田 昌宏 (吹田西)
 - 嶽下 勇治 (大阪中之島)
 - 坂本 勝男 (大阪なにわ)
 - 宮崎 正人 (高槻東)
 - 前田 要之助 (大阪東淀川)

- 青少年交換委員会**
- ◎ 山本 喬一 (大阪天満橋)
 - 磯田 郁子 (大阪東淀川)
 - 稲 邑清也 (千里)
 - 辻村 和弘 (大阪大手前)
 - 河畑 誠治 (東大阪)
 - 松岡 一郎 (大阪)
 - 中田 有紀 (茨木東)
 - 井村 周平 (大阪心齋橋)
 - 太田 敏一 (大阪西南)
 - 西邨 智雄 (香里園)
 - 片瀨 正一 (大阪天王寺)
 - 出口 統士 (大阪帝塚山)

地区研修委員会	ガバナー補佐	ガバナー補佐エレクト	地区ガバナー指名委員会	地区諮問委員会	意義ある業績賞委員会
<p>〇〇〇〇</p> <p>岡 鈴 岩 立 高 大 岩 井 田 木 津 野 島 谷 田 上 耕 陽 純 凱 宙 暎 治 洋 介 三 夫 透 造 夫</p> <p>(千里) (大阪南) (大阪西) (大阪中) (大阪東) (大阪平野) (大阪北)</p>	<p>川 矢 戸 緒 井 西 簡 西 上 田 田 方 川 邨 宮 善 勝 和 孝 智 仁 富</p> <p>(八尾) (香里園) (大阪北) (大阪南西) (大阪平野)</p>	<p>境 佐 松 大 梅 岩 新 野 伯 川 富 澤 喜 本 井 村 高 良 雅 國 八 静 正</p> <p>(大阪城南) (新大阪) (大阪西) (大阪東) (吹田西) (大東中央) (箕面千里中央) (大阪北)</p>	<p>高 岡 松 大 福 島 部 本 谷 家 凱 泰 新 太 透 宏</p> <p>(大阪中之島) (大阪城南) (八尾) (大阪西南) (八尾中央)</p>	<p>宮 福 高 岡 松 大 横 新 岩 神 若 井 寺 近 大 菅 戸 田 家 島 部 本 新 谷 山 谷 田 崎 林 上 田 藤 森 生 田 宏 泰 凱 泰 太 透 雄 一 造 茂 男 紀 暎 和 雅 慈 浩</p> <p>(大阪北) (大阪東) (大阪中之島) (大阪中央) (大阪西南) (大阪西) (池田くれは) (大阪南) (大阪東) (千里) (大阪) (茨木) (大阪北) (八尾) (大阪城南) (大阪中之島) (八尾中央)</p>	<p>高 岡 福 島 部 家 凱 泰 宏</p> <p>(大阪中之島) (大阪城南) (八尾中央)</p>

青少年奉仕部門

顧問 岡部 泰 鑑 (大阪城南)

- 青少年合同委員長会議**
- ◎ 岡部 泰 鑑 (大阪城南)
 - 近藤 菜穂子 (大阪ネクスト)
 - 川本 典美 (大阪ネクスト)
 - 阪上 博史 (茨木東)
 - 山本 喬一 (大阪天満橋)
 - 井上 善博 (東大阪みどり)
 - 山本 和良 (大阪南)
 - 鮫島 武信 (大阪南)

- 青少年活動委員会**
- ◎ 井上 善博 (東大阪みどり)
 - 庄司 修一 (箕面)
 - 松本 晴充 (大阪中央)
 - 高橋 一雅 (大阪北)
 - 西本 健二 (吹田江坂)
 - 石川 益三 (大阪難波)
 - 池田 文治 (大東中央)
 - 石井 正人 (大阪フレンド)
 - 西崎 哲弘 (大阪城北)
 - 瓦谷 勝 (大阪西南)
 - 阿部 洋治郎 (大阪平野)
 - 齋藤 清貴 (大阪ユニバーシティ)

- インターアクト委員会**
- ◎ 鮫島 武信 (大阪南)
 - 西 秀樹 (八尾)
 - 東村 正剛 (大東)
 - 松井 隆雄 (大阪天王寺)
 - 小泉 祐助 (大阪)
 - 水取 孝司 (大阪天王寺)
 - 小池 貢 (大阪帝塚山)
 - 田中 康正 (八尾)
 - 空門 満也 (大東)

社会奉仕部門

顧問 高島 凱 夫 (大阪中之島)

- 社会奉仕委員会**
- ◎ 脇 隆 俊 (大阪御堂筋本町)
 - 中嶋 英貴 (大阪鶴見)
 - 滝川 博嗣 (門真)
 - 竹田 伸 (大阪難波)
 - 小林 知義 (大阪ユニバーシティ)
 - 中山 正隆 (大阪リバーサイド)
 - 奥谷 英夫 (千里)
 - 溝手 悟 (大阪天満橋)
 - 木崎 信也 (くずは)
 - 服部 潤承 (池田くれは)
 - 望田 成彦 (摂津)
 - 塩尻 明夫 (大阪船場)

- ロータリーアクト委員会**
- ◎ 山本 和良 (大阪南)
 - 丸尾 照二 (大阪御堂筋本町)
 - 松尾 治 (東大阪西)
 - 久保 義誓 (茨木)
 - 栗村 卓家 (大阪西)
 - 柳田 雅範 (東大阪)
 - 末松 大幸 (大阪淀川)
 - 田中 実 (大阪北)
 - 井上 智裕 (守口)
 - 山本 博之 (大阪東)
 - 舩 律子 (大阪西南)
 - 坂田 淳一 (枚方)
 - 羽鳥 敬彦 (大阪)

職業奉仕部門

顧問 松本 新 太郎 (八尾)

- 職業奉仕委員会**
- ◎ 北川 忠嗣 (東大阪東)
 - 岡本 雄介 (大阪大手前)
 - 田中 徳彦 (大阪西南)
 - 木越 正司 (大阪西)
 - 庄野 晋吉 (大阪)
 - 黒松 克行 (大阪城東)
 - 朝倉 通憲 (高槻)
 - 河合 秀行 (大阪西北)
 - 高杉 一 (大阪)
 - 只井 恒満 (大阪西)
 - 林 宏毅 (くずは)
 - 長谷 裕代 (大阪大手前)
 - 関谷 洋子 (豊中)
 - 濱中 眞希子 (大阪北梅田)

- ロータリーフェスティバル実行委員会**
- ◎ 近藤 雅臣 (千里)
 - 片山 一步 (大阪帝塚山)
 - 上場 俊哉 (高槻東)
- 担当地区委員会 広報委員会

クラブ奉仕部門

顧問 福家 宏 (八尾中央)

- クラブ奉仕・拡大增強委員会**
- ◎ 福田 忠博 (大阪中之島)
 - 新居 誠一郎 (大阪南)
 - 峠本 敏夫 (交野)
 - 榎本 桂子 (寝屋川)
 - 中平 公士 (大阪東)
 - 松崎 達郎 (大阪東南)
 - 中島 武 (大阪みおつくし)
 - 小山 章松 (大阪船場)
 - 西尾 誠一郎 (大阪大淀)
 - 橋本 善治 (茨木西)

- 広報委員会**
- ◎ 上場 俊哉 (高槻東)
 - 松任 保勇 (大阪中之島)
 - 石田 秀 (大阪西南)
 - 岡村 剛行 (大阪東)
 - 林 邦彦 (大阪西)
 - 小森 敏鑑 (大阪南西)
 - 梅原 一樹 (大阪中之島)
 - 小西 康二 (豊中千里)
 - 猪俣 由宇 (高槻東)
 - 藤田 和美 (大阪西南)
 - 深江 慎介 (大阪フレンド)

◎: 委員長もしくはリーダー
 ○: 副委員長もしくはサブリーダー
 ◇: 幹事

※青少年合同委員長会議においては
 ◎: 議長



Rotary International
District 2660